

第1回武田薬品工業株式会社湘南研究所の環境保全に関する連絡会議議事要録

- 1 開催日時 2011年(平成23年)3月29日(火)13時30分～15時
- 2 開催場所 武田薬品工業株式会社湘南研究所 CS棟2MF会議室
- 3 出席者 村岡地区自治町内会連合会及び7町内会の代表
武田薬品工業株式会社湘南研究所環境保全・行政地域等関係職員
藤沢市役所環境保全課等関係職員

4 内 容

藤沢市役所環境保全課長及び武田薬品工業株式会社湘南研究所医薬研究本部主席部員の開会挨拶の後、同課長を議長として進行した。

(1) 会議の運営について

連絡会議に出席する者は、村岡地区自治町内会連合会長及び7町内会長とした。また、武田薬品工業株式会社湘南研究所からは、環境保全・行政地域等関係部門の職員、藤沢市役所からは、保健所、土木及び環境保全部門の職員とした。

連絡会議の庶務は藤沢市役所環境保全部門が行い、議長を環境保全課長が努めるものとした。

連絡会議の傍聴は認めないものとしたが、武田薬品工業株式会社及び藤沢市役所は、リスクコミュニケーションに努め、その内容を連絡会議に報告していくこととした。

連絡会議の開催頻度は年1回とし、必要に応じて臨時に開催できるものとした。なお、今年については、研究活動が本格化する秋頃に再度定例会議を開催することとした。

連絡会議の内容を要約した議事要録を庶務が作成し、藤沢市市政情報コーナーに配架し公開することとした。

以上の内容をまとめた、連絡会議の運営要領を作成するものとした。

(2) 武田薬品工業株式会社からの報告

3月11日の地震で、湘南研究所は影響を受けなかった。筑波研究所では影響を受けたが、周辺への環境影響は全くなかった。湘南研究所は、計画停電の対象となっているため、研究者の移転計画の見直しがある。

湘南研究所周辺7か所で稼働前1月に実施した大気質二酸化窒素の調査結果が報告され、比較で測定した藤沢市役所の調査結果と同程度であった。

正門守衛所で大気、水質のモニタリング結果をモニターで誰でも見られるように表示している。(3/30から正式稼働)また、騒音振動については、工事中に設置した表示盤により、2か所で表示している。

近接する住民の方を環境モニターとして各町内会から選んでいただき、騒音・振動・臭気・粉塵等について気づいたことを連絡する制度を実施することとした。なお、この制度は、大阪工場、光工場でも実施している。

住民の皆様との連絡窓口については、総務人事センターである。休日夜間も含め電話は0466-32-2111である。

(3) 質疑

Q 内覧会が1日だけだったため、見学できなかった人がいる。見学できるのか。

A 先日のような見学会は予定していない。なお、現在は、移転引越しを行っており足場が悪いため今はできない。時期は未定であるが、一般ルートと呼ばれるところから見学できるようにしたいと考えている。

Q 一般の人が、遊歩道を回れるようにするのか。

A 来年の桜の開花時に行いたいと考えている。

Q 工場時代にスポーツ施設を借りられたが。

A 従業員向けにテニスコート等の福利厚生施設を整備するが、空いた時間に提供できるように検討したい。

Q 植栽に縄張りがしてあるが。

A 希少種の植物があることをわかるようにしている。

3 その他

会議終了後、焼却炉の燃焼用ガスの供給ラインが切断されていて、焼却炉は使用できない状態にあることを実際に見て確認した。

以 上